

昨日は花火大会でした。地域の人たちが、コロナ禍で楽しみが減っているのに、少しでも楽しいものを作りたいということで、企画してくれました。とても盛り上がったので、地域の方もその様子を見て、とても喜んでおられました。また、帰りには「ありがとうございました」とお礼をしっかりする姿に素直で良い子たちですねとお褒めの言葉をいただきました。いろんな方たちが、みなさんを見守ってくれていることに感謝ですね。

もえろ！きたたつ魂！～みんなで できるよ きたたつみ～ の取り組みが始まって2週間がたちました。シールはたまってきたでしょうか？先生は朝の挨拶運動で毎日、正門にいますが、元気に目合わせて挨拶をしてくれる人が随分と増えたと感じます。特に1年生と2年生の人たちがとても元気に挨拶をしてくれるのが目立ちます。他の学年でも、もっともっと増えてくれるとうれしいです。

ところで、コロナウイルス感染症の影響で学校にお客さんがあまり来ていませんでしたが、最近、少しずついろいろなお客さんが学校に来るようになっていきます。誰かのお母さんやお父さんをはじめ、学校内であった人には、知らない人であっても、元気に挨拶をしましょう。大人になってからでも、まず元気な挨拶ができるということは一

番最初の印象（第一印象といいます）を大きく変えます。人と人とが接していくうえで、なくてはならないものだと思いますので、小学校のうちにみんなができるようになりましょうね。

先ほど、1，2年生の元気が良いという話をしましたが、やはり、学校の中心は高学年だと思います。5，6年生は高学年としてみんなの見本になるように率先して元気な挨拶をしてもらいたいです。

そして、見本という点では、このところずっと5，6年生が帽子をわざとかぶらなかつたり、手で持っていたりする姿が目立ちます。上級生がきっちりとした格好をしている姿を見せて、他の学年の見本になることは格好良いことだと思います。ぜひ、高学年には格好良い先輩になって、下の学年から憧れられる存在であって欲しいと思います。そのためには、当たり前のことを当たり前にすることが大切だと思いますので、きっちりした服装を心がけるよう、よろしくお願いします。